



©Yuki Asa

## シアバターで潤いある生活を

日本では“チョコレート”で有名なガーナ。アフリカ西部にあるこの国は、北には広大な乾燥地帯が、南には美しい緑と海が広がっている。

その国から日本に、特に女性にとってうれしい“モノ”が渡ってきた。今度は食べ物ではない、ガーナ北部のシンボル、シアバターノキの実を原料とした“シアバター”を使った製品だ。

その仕掛け人となったのが、青年海外協力隊OGの前田真澄さん。ガーナでの生活を通じてアフリカに魅せられた彼女は、「この土地の良さや楽しさ、自然の中ではぐくまれた知恵を伝えていきたい」と、帰国後に活動先だったガーナ北部のズオ村の女性たちとビジネスを始

めることに。現地のシアバターを使った製品を日本で販売する「アフリカ工房」を立ち上げた。

シアバターづくりは、なかなかの重労働。まずは実から種を取り出し、核の部分を天日干し。ローストしてからペースト状にし、ひたすらグルグルかき混ぜる。力入れ具合と根気強さがポイントだ。

「日本人女性の心をつかむためには、品質、見た目など、すべてに気を使わなければなりません」と前田さん。隊員時代の相棒たちとのチームワークは抜群。工房はいつも笑いに包まれている

肌に優しい100%天然のシアバター。その潤いが日本とアフリカを笑顔でつないでくれる。



シアバターはしっかりとかき混ぜたら完成

★シアバターの保湿クリームを3人、石けんを1人にプレゼント!→詳細は38ページへ

★シアバター製品は、アフリカ工房のホームページ([www.africakobo.com/](http://www.africakobo.com/))から購入可能

